

実世界情報学科 カリキュラム・ポリシー

実世界情報学科ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を備えた人材を育成するために、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成する。

1. 数理科学科目群では、専門科目を学ぶ上で必要となる数学の基礎を固める。
2. 専門基礎科目群では、IoT による実世界からの情報収集、実世界理解のための画像処理や人工知能の基礎を学ぶと同時にコンピュータやソフトウェアの仕組み、オペレーティングシステムやプログラミング言語、プログラミング技術、ネットワークの仕組み等の情報科学に関する基礎的知識を身につける
3. 基幹科目群では、IoT システムの開発に必要な電子回路、通信プロトコル、サーバの利用に加え、生活空間の環境設備やロボットなどの自動機器の制御に必要な位置推定、ロボット操作、コンピュータビジョンなどの専門的で実践的な技術を総合的に身につける。
4. 応用科目群では、実世界へ導入するためのシステム構築、人とのインタラクションに必要な画像処理などの技術を習得するほか、メディア情報の伝送などについても学び、価値を生み出し実装していく力を身につける。
5. 演習科目群では、プログラミングの演習ならびにそれまでに学んできた知識を IoT やロボットの動作に応用する実践的な演習を通じて理解を深める。
6. 卒業研究では、これまで学んだ専門知識を駆使し、実世界の具体的な問題の解決策を考案、実装、検証する実践的な能力を養う。